

全岐阜県生活協同組合連合会

〒509-0197 岐阜県各務原市鷺沼各務原町1丁目4番地の1

TEL 058-370-6867 E-mail ksatou@tcoop.or.jp HP https://www.coop-gifukenren.jp/



第49回通常総会を開催しました

2024.6.22

6月22日(土)、岐阜市のワー
クプラザ岐阜大会議室において、
全岐阜県生協連第49回通常総
会を開催し28名(実出席25名、
書面3名)が出席しました。

大坪会長理事の開会挨拶で
は、元旦の能登半島地震など自然
災害のリスクが高まり続けている
ことや、最近の自動車業界の不
正問題などを例に、全業界通
して大きな転換期を迎えている
と考えられること、そして生協も
その一員として自らの役割を確
実に果たしていくことが重要で
あるとの認識が示されました。



<総勢43名の参加で開催しました>

続いて、来賓よりご挨拶をいただきました。岐阜県環境生活部県民生活課の森課長からは、能登半島地震災害への支援活動をはじめとして、生協が日常的に県民生活の幅広い分野に渡り貴重な役割を果たしていることへの謝意と今後への期待の言葉をいただきました。日本生協連関西地連の村上事務局長からは、全国の生協間の連帯への貢献についてのお礼とあわせ、「日本の生協の2030ビジョン」実現に向け、引き続き積極的な関りを期待するとの言葉をいただきました。

議長に生協アイチョイス岐阜の新川裕理さんが選出され議事に入り、佐藤専務理事が全ての議案を一括して提案し、村上監事より第1号議案に関わり監査報告がありました。続いて各会員生協からの活動報告で議案を深めました。

その後採決を行い全議案とも満場一致で可決されました。2024年度の活動方針と、それに基づく各活動計画、そして役員改選による新しい執行体制が承認されました。

- 第1号 2023年度事業報告ならびに決算関係書類承認の件
- 第2号 2024年度活動方針および
予算決定の件
- 第3号 定款の一部改訂承認の件
- 第4号 会員ならびに会費規約改訂の件
- 第5号 県連役員選任の件
- 第6号 役員慰労金支出の件

※裏表紙(p4)に続く

※表紙(p1)の続き

その後開催された第1回理事会では、根崎会長理事、内藤副会長理事、佐藤専務理事が互選され、代表理事に根崎会長理事、佐藤専務理事が選定されました。

そして、今回で役員を退任された大坪光樹さん、坂田充宏さんに、根崎新会長理事より記念の花束と慰労金が贈られ、お二人より退任のご挨拶がありました。

また、今年度より理事に就任された、前口直樹さん(岐阜大学生協)、平井恵子さん(岐阜県労働者共済生協)、児玉幸夫さん(コープぎふ)より新任の挨拶がありました。



<根崎新会長より、大坪光樹さん、坂田充宏さんに花束が贈呈されました>

2024年度役員体制 ~よろしくお願いたします~

会長理事(代表理事)	根崎 周一	生活協同組合コープぎふ/理事長	昇任
副会長理事	内藤 浩	岐阜県労働者共済生活協同組合/理事長	重任
専務理事(代表理事)	佐藤 圭三	生活協同組合コープぎふ/渉外	重任
理事	片桐 学	岐阜県学校生活協同組合/専務理事	重任
理事	平井 恵子	岐阜県労働者共済生活協同組合/専務理事	新任
理事	前口 直樹	岐阜大学消費生活協同組合/専務理事	新任
理事	児玉 幸夫	生活協同組合コープぎふ/専務理事	新任
理事	中村 英洋	西濃医療生活協同組合/専務理事	重任
理事	子安 貞継	生活協同組合アイチョイス岐阜/理事長	重任
監事	小野 廣紀	岐阜市立女子短大生活協同組合/理事長	重任
監事	村上 達也	岐阜県学校生活協同組合/理事長	重任



<新任役員の皆さま。左から前口直樹さん、平井恵子さん、児玉幸夫さん>

2024年度の重点課題

- (1) 自然災害に備え、職員と組合員の命を守る取り組みを進めます。
- (2) 身近な地域の活動に、行政や諸団体、協同組合と連携して取り組みます。
- (3) 行政や議会との関係づくりを進め、生協への理解と支持をひろげます。
- (4) 渉外・広報活動を強め、生協の社会的認知度の向上をめざします。
- (5) 会員生協の経営相談や支援を進めます。
- (6) 全岐阜県生協連50周年(2025年度)の事業計画をつくります。

岐阜県学校生協 岐阜大学生協 岐阜県労働者共済生協 コープぎふ
岐阜市立女子短大生協 西濃医療生協 生協アイチョイス岐阜

ぎふハチドリ基金に2023年分の募金をお贈りしました

2024.1.9

2024年1月9日(火)、全岐阜県生協連の会員生協に設置していただいているハチドリ募金箱に集まったお金を集め、同基金への寄付金としてお贈りしました。今年の合計金額は、25,849円になりました。

ぎふハチドリ基金は、若い世代(子ども・若者・子育て家庭)が抱える困難を、地域の支え合いで解決できる社会づくりを目指し活動しているNPO法人です。賛助会員であるハチドリ応援団(地域の企業、商店、団体、個人)からの会費や寄付金を原資として、経済的困窮やいじめ、ひきこもり等、さまざまな困難を抱える子どもや若者、子育て家庭を支える活動への助成事業等を行っています。

全岐阜県生協連の関係では、全岐阜県生協連と生協アイチョイス岐阜が「ハチドリ応援団」に登録している他、岐阜県労働者共済生協(こくみん共済coop)と東海労働金庫が助成事業に継続して寄付を行ったり、県連の会員生協の施設にハチドリ募金箱(計10箇所)を設置していただくなど支援活動をひろげています。2024年も引き続き、全岐阜県生協連の会員生協と一緒にぎふハチドリ基金を応援していきます。



<生協アイチョイス岐阜本部のハチドリ募金箱>

「被爆者の願いを継承する岐阜県民の会」第7回運営会議に参加しました

2024.1.31

2024年1月31日(水)、岐阜市のハートフルスクエアGで、被爆者の願いを継承する岐阜県民の会(略称:継承する岐阜県民の会)「第7回運営会議」が開催され、24名が出席しました。

「継承する岐阜県民の会」は、2020年12月に設立され、核兵器廃絶を目指し、岐阜県原爆被爆者の証言を記録すること、また全国的な運動の岐阜県における受け皿として活動しています。



<代表世話人の皆さま。左から安藤征治さん、加田弘子さん、古川秀昭さん、大坪光樹さん>

代表世話人の挨拶に続き、情勢報告・学習として日本被団協の事務局長であり、岐阜県原爆被爆者の会(岐朋会)の木戸季市さんから、被爆者運動の進捗状況や昨年11月に開催された「核兵器禁止条約第2回締約国会議」の参加報告をお聴きました。「世界の大きな流れは、圧倒的な人々や国連加盟の多くの国々が核兵器廃絶を実現するための具体的な話し合いをしており、この会議に参加して大きな力をいただいた」との言葉が印象に残りました。

その後、参加者で意見交流しました。「この取り組みも若い世代へと交代するための運動に切り替えていくことが必要だと感じる」「私自身が高齢になってきていることもあり、残された人生において、たとえ些細なことでも自分も何か触れられたらと思いこの会に参加している」「戦争を知らない子供たちに少しでもいいから話をして、興味を持ってほしい、教えてあげたいという気持ち。自分も学ぶためにこの会に参加している」など率直な思いが出されました。



平和は誰もが願う当たり前のことであり、若い人がこれから参加できるような平和の取り組みにするためには、思想信条の違いを乗り越えた平和の取り組みが必要で、私たち自身が学びひろげいくことがより大事になること等を確認しました。

リニューアルしました!
「すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める署名」

2021年から「すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める署名運動」に取り組んでいます。

この度、署名用紙裏面をリニューアルしマンガ動画も制作しました。2024年度も多くの皆さんと一緒に進めていきます。



※QRコードから動画もご覧ください。

消費者ネットワーク岐阜 第15回総会・記念講演会が開催されました

2024.5.11

2024年5月11日(土)、消費者ネットワーク岐阜第15回総会・記念講演会が岐阜大学「OKB 岐阜大学プラザ」で開催され46名が参加しました。第2部の記念講演会には、事前申し込みのあった方(65名)が参加し、岐阜大学、岐阜女子大学の学生(約400名)に、オンデマンド配信されました。

第1部の総会では、以下の3議案が提案され、満場一致で承認されました。
第1号議案 2023年度事業報告及び収支決算承認の件
第2号議案 2024年度事業計画及び収支予算承認の件
第3号議案 2024年度世話人、会計監査の選出、代表・副代表の承認の件



<大数代表から開会挨拶>

第2部の記念講演は、幸地クリニック(神戸市)の中元康雄氏より、「青少年のネット依存・ゲーム障害の理解と対応について ~良好な家族関係を保つために~」のテーマで講演していただきました。依存症の定義や依存症にいたるプロセス、近年深刻化しているネット依存・ゲーム障害の具体的な症状、なりやすい子、依存傾向のある人の言動、問題ある「介入」とは? など事例も交えて話していただきました。社会問題として深刻化しているテーマについて、わかりやすく学習できたと同時に、予防やその後の対応が大変難しいということ、講演を通して学びました。



<講師の中元康雄氏(幸地クリニック)>

石川県輪島市での炊き出し活動に参加しました

2024.6.8

2024年6月8日(土)、石川県輪島市での炊き出し活動に参加しました。今年元旦に発生した令和6年能登半島地震の被災地支援に、「NPO法人リエラ」と連携して取り組まれている大阪府生協連から呼びかけをいただき、計5名で参加しました。輪島市町野町の「もとやスーパー」さん駐車場にて、大阪府生協連、和歌山県生協連、滋賀県生協連、東京都生協連の皆さんと一緒に活動しました。

私たち5人では手数が全く足りませんでした。一緒に参加された都府県連の皆さんに助けをいただき、何とか焼きそば500食を焼き上げバック詰めすることができました。そして、100mほど離れた炊き出し会場(粟倉医院さん)に運び、19時の映画上映の前に集まれる地域の方に、「牛丼の具」「焼きそば」「からあげ」「フライドポテト」「味噌汁」をお渡ししました。また、近くにある仮設住宅を一軒ずつ訪問しながら、食べていただける方にお渡ししました。多くの方から感謝され喜んでいただけに心に残りました。

自分の目で見た被災地の様子は、テレビやインターネットの情報とは比較できないほど生々しく、倒壊した建物や崩れた道路の様子がショッキングでした。震災発生から5か月以上が経ちましたが、これほど長期間にわたり倒壊した家屋が放置されている被災地は他に例がないとのことですが、現地では圧倒的に支援の人手が不足しているにもかかわらず、その情報が伝わっていないと実感しました。今回、とても貴重な体験の機会をいただいたことに感謝いたします。



<コープぎふの皆さんと一緒に参加しました>



<他都府県生協連の皆さんのおかげで無事に終了しました>